

平成28年 6月 8日
東北地方整備局
岩手河川国道事務所

宮古盛岡横断道路（区界^{くざかい}道路）の 開通見通しについて

宮古盛岡横断道路は、三陸沿岸道路と東北縦貫自動車道を結ぶ約100kmの復興支援道路で、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして整備を進めています。

平成23年度に事業着手した区界^{やながわ}道路（区界～築川）の区間8.0kmを、平成32年度までに開通する見通しです。

～宮古盛岡横断道路の開通により期待される効果～

- 安定した輸送経路の確保により地域産業の復興加速化を支援します。
- 観光振興を支援します。
- 安定した救命救急活動を支援します。

◎ 今回の公表により宮古盛岡横断道路約100kmのうち、約32km（約3割）の開通見通しが確定したことになります。

<記者発表先：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会>

問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所 TEL:019-624-3131(代)

副 所 長 木越^{きごし} 養一^{よういち} (内線205)

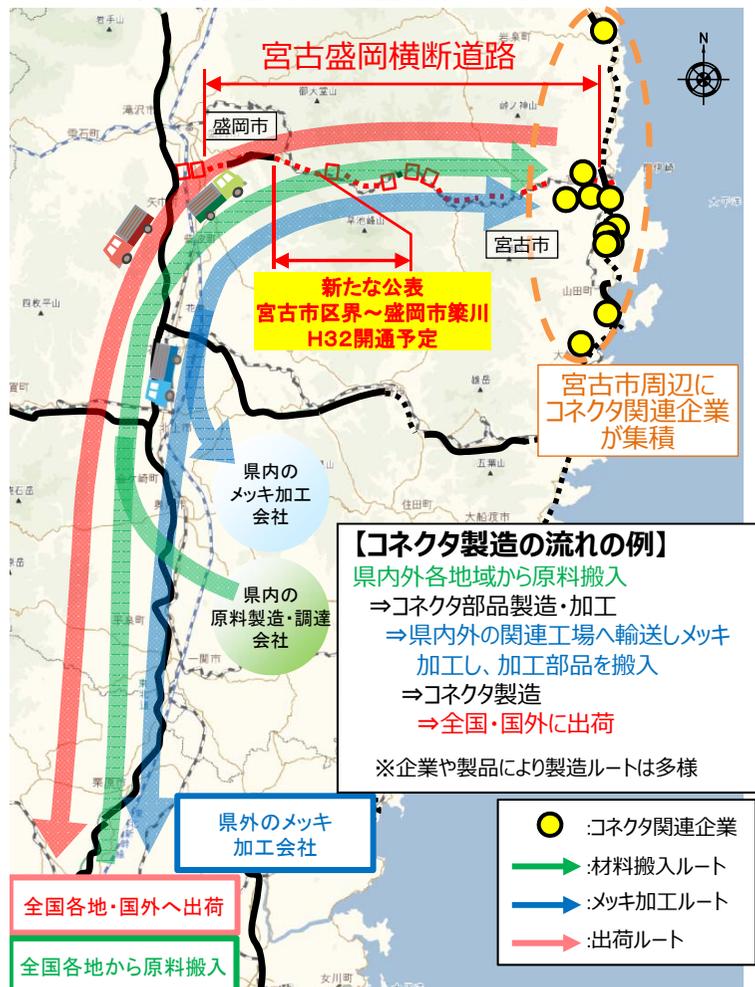
工務第二課長 岩^{いわぶち} 渚^{まこと} 誠 (内線411)

安定した輸送経路の確保により 地域産業の復興加速化を支援する宮古盛岡横断道路

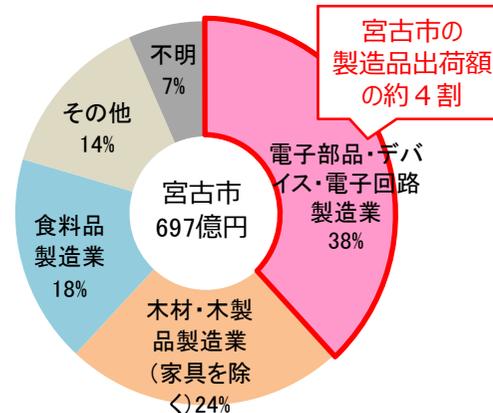
○宮古市の基幹産業である電子部品等製造業の出荷額は、震災以前の約8割の水準まで回復

○宮古盛岡横断道路の整備により、コネクタの原料や製品の搬出入の速達性・安定性が図られ、電子部品等製造業の復興加速化を支援

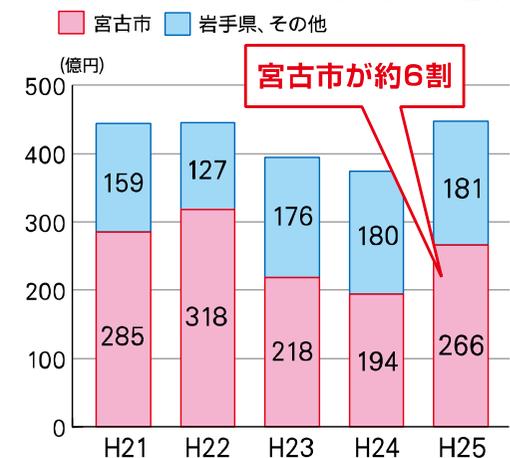
▼コネクタ製造に関わる主な搬入・搬出ルート



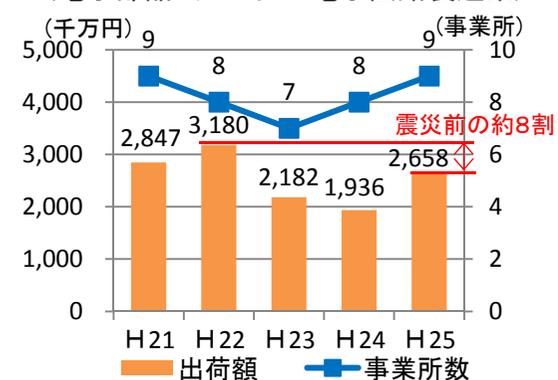
▼宮古市の製造品出荷額の内訳



▼岩手県内のコネクタ出荷額の推移



▼宮古市の製造品出荷額と事業所数の推移 (電子部品・デバイス・電子回路製造業)



※コネクタとは機器と機器を接続するケーブルの接続部分の部品・器具のこと

資料：工業統計表「市区町村編」



▲コネクタ部品

<コネクタ製造企業の声>

- ・振動による衝撃に弱いコネクタ製品の荷痛みが課題
- ・時間短縮による生産効率の向上に期待

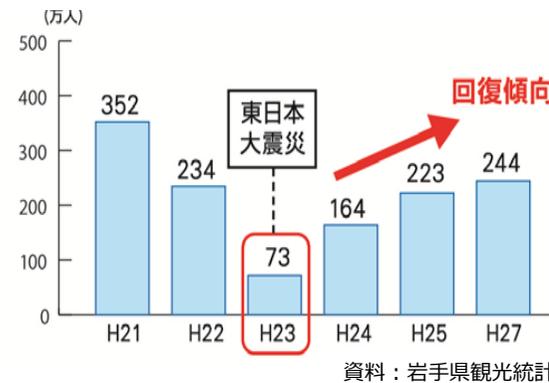
資料：工業統計表「市区町村編」

観光振興を支援する宮古盛岡横断道路

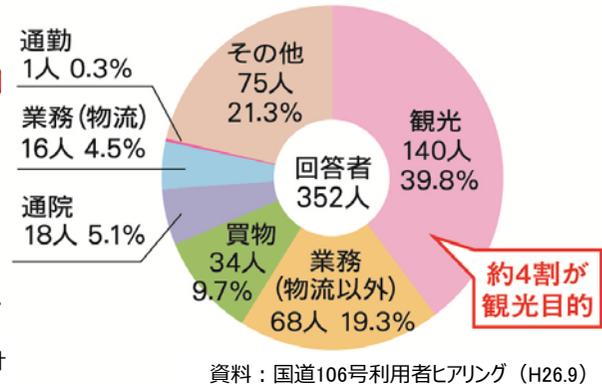
- 宮古地域の観光入込客数は、東日本大震災以前の水準に戻りつつある
- 復興道路、復興支援道路の整備推進により、岩手県初となる宮古港～室蘭港間のフェリー航路開設が決定(平成30年6月予定)
- 宮古盛岡横断道路の整備により、内陸観光拠点との観光周遊ルートが形成され、岩手県における広域観光を支援



▼観光入込客数の推移(宮古地方生活圏)



▼国道106号を利用する主な目的



【航路検討概要】(川崎近海汽船株式会社ニュースリリースより)

- 航路 宮古～室蘭(326km)
- 開設 2018年6月(予定)
- 運航計画 1日1往復(運航時間10時間)、毎日運航
- 選定理由
 - ①復興道路等の早期開通により県内各地や仙台圏、首都圏へのアクセスが大幅に向上
 - ②トラックドライバーが必要とする休憩時間8時間が確保できる最適な航路
 - ③両港とも近隣の観光資源が豊富で旅客需要に期待
 - ④宮古市、室蘭市などの自治体がフェリー航路の誘致に積極的であり、トラック事業者等からの期待も大きい

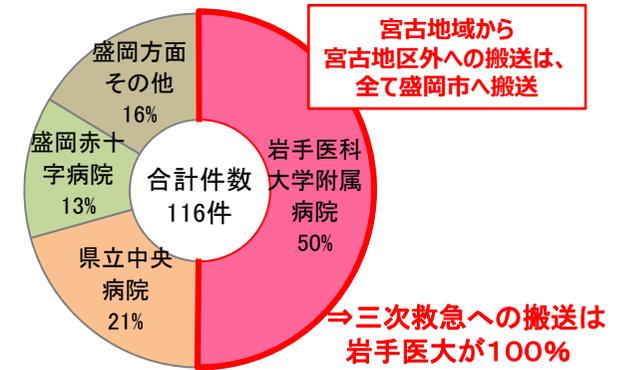


▲宮古港に試験寄港したカーフェリー

安定した救命救急活動を支援する宮古盛岡横断道路

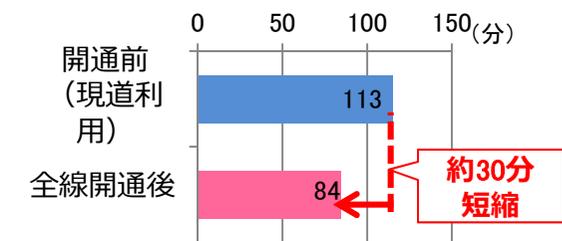
- 宮古地域から第三次救急医療施設への搬送は、全て岩手医科大学付属病院(盛岡市)となっている
- 宮古盛岡横断道路の整備により搬送時間が約30分短縮されるとともに、信頼性が高く、安定した救命救急活動を支援

▼宮古地域から宮古地区外への搬送状況 (H26)



※宮古地域：宮古消防署・新里分署・川井分署
資料：宮古地区広域行政組合 消防本部搬送実績

▼宮古市役所から岩手医大付属病院までの所要時間の変化



※H22センサス非混雑時旅行速度
岩手医大付属病院はH31移転予定地として算出

